



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月14日

上場会社名 ビートレンド株式会社 上場取引所 東
コード番号 4020 URL <https://www.betrend.com>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上 英昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理管掌 (氏名) 穂谷野 一敏 TEL 03 (6205) 8145
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	543	0.5	39	△50.4	39	△50.6	26	△51.8
2022年12月期第2四半期	540	10.4	79	317.7	80	317.9	55	334.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	12.09	11.88
2022年12月期第2四半期	25.45	24.69

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	932	818	87.8
2022年12月期	941	789	83.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 818百万円 2022年12月期 789百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年12月期	-	0.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,200	10.3	176	20.2	176	20.8	122	22.2	55.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	2,196,600株	2022年12月期	2,183,200株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	0株	2022年12月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	2,192,287株	2022年12月期2Q	2,161,899株

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社の現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、TDnet及び当社ホームページにて同日開示しております。なお、決算説明の動画を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が解除され、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調にありました。一方、円安傾向や国際情勢やサプライチェーンの悪化に伴う原材料価格や光熱費の高騰、物価の上昇等、景気の下方リスクも存在し、小売業や飲食業が主要顧客である当社を取り巻く経営環境は、不透明な状況が継続しました。

このような環境の中、営業活動もリモートに加え訪問による面談も増加し、大手販売パートナーとの共同提案も増加し、効率的な販売活動を推進しました。新規案件では、ホームセンターやアウトレット運営企業等の新規顧客からの受注がありました。

2023年6月末時点での主力サービスであるスマートCRMサービスのARR(注1及び注2)は694,601千円(前年同期比12.2%増、75,560千円増)に増加しました。メールマーケティングサービスのARRは244,643千円(同3.1%減、7,813千円減)と減少しましたが、CRMサービス全体のARRとしては、939,244千円(同7.8%増、67,746千円増)に増加しました。

2023年6月末時点での会員数は、消費者の店舗への回帰が徐々に進んできたことやスマートCRMサービス導入企業による継続的な会員獲得の活動により、26,908,916名(前年同期比18.6%増、4,218,222名増)となりました。これに伴い従量料金の売上も増加しスマートCRMサービスの売上の増加に寄与いたしました。

2023年6月末時点での主力のスマートCRMサービス契約社数は、2022年6月末以降、小売業を中心に様々な業種業態での新規案件が獲得でき23社増加した一方、10社の解約があったため、全体では179社と前年同期と比べ13社の増加となりました。メールマーケティングサービスの契約社数は2022年6月末以降5社減少し443社となり、CRMサービス全体としては、契約社数622社(前年同期比1.3%増、8社増)となりました。

初期費用、カスタマイズ開発、SMS費用等で構成されるカスタマイズサービスについては、スマートCRMサービスの新規導入時や、既存導入先の新機能追加時のソフトウェア開発による売上がありました。

DM印刷売上、決済手数料等その他サービス(注2)については、決済手数料が安定的に売上を上げる一方、DM印刷売上については、印刷事業者の値上げによるコスト高など紙の郵送DM自体の需要減に伴い、前年同期比売上減となり、その他サービス全体としても売上減となりました。

売上原価については、システムの信頼性向上やセキュリティ強化への投資により、前年同期に比べデータセンターに関する費用及びサービス構築に関わる外注費用が増加しました。一方、サービス提供に関わるソフトウェアの自社開発に伴い外部へのライセンス費用は大幅に減少しましたが、全体としては、前年同期に比べ22,370千円増、原価率は3.9ポイント増加しました。販売費及び一般管理費については、役員報酬、給与手当、採用費、派遣費用等人件費、業務委託費、広告宣伝費等が増加しました。また、監査法人変更に伴う前監査法人の監査工数増による追加費用等が6,136千円生じたため、第2四半期累計期間としては支払報酬全体として前年同期に比べ8,455千円の増加(前年同期比68.1%増)となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は543,381千円(前年同期比0.5%増)、営業利益は39,623千円(前年同期比50.4%減)、経常利益は39,533千円(前年同期比50.6%減)、四半期純利益は26,498千円(前年同期比51.8%減)となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1)ARR(Annual Recurring Revenue):年間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量課金や店舗毎課金を組み合わせた年間契約で提供することで獲得する年間契約金額です。

当社では、以下の計算式で算出しております。

期末ARR = 期末月のMRR × 12

MRR(Monthly Recurring Revenue):月間経常収益のことで、月額定額課金に加えて、会員数や通信料に応じた従量課金や店舗毎課金を組み合わせて提供することで獲得する月間契約金額です。売上高のうちリカーリングの性質の売上高を月額で表した金額です。

(注2)前事業年度(2022年12月期)まで、その他サービスに計上していたコールセンターサービス売上は、本事業年度よりスマートCRMサービス売上に移行しています。そのため当第2四半期の前年同期比(増加率、増加額)を計算する際の前年同期ARRには、コールセンターサービス売上を含んでいます。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は760,598千円となり、前事業年度末と比較して18,806千円の増加となりました。これは主に、売掛金回収による現金及び預金の増加13,089千円、受取手形及び売掛金の増加1,667千円、仕掛品の減少1,652千円、その他流動資産の増加5,899千円等によるものであります。

固定資産は171,830千円となり、前事業年度末と比較して27,868千円の減少となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定の増加4,549千円、ソフトウェアの減少21,966千円、投資その他の資産の減少8,600千円等によるものであります。

この結果、総資産は932,429千円となり、9,061千円の減少となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は90,029千円となり、前事業年度末と比較して37,939千円の減少となりました。これは、未払法人税等の減少21,475千円、仕入の増加による買掛金の増加740千円、その他流動負債の減少17,205千円等によるものであります。

固定負債は24,009千円となり、前事業年度末と比較して34千円の増加となりました。これは、新オフィスの資産除去債務の増加34千円によるものであります。

この結果、負債合計は114,039千円となり、前事業年度末に比べ37,905千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は818,389千円となり、前事業年度末と比較して28,843千円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加26,498千円、新株予約権の行使に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,172千円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローに関する説明)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ13,089千円増加し、当第2四半期会計期間末は609,018千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動で獲得した資金は、17,731千円（前年同四半期は117,045千円の獲得）となりました。収入の主な内訳は、税引前四半期純利益39,183千円の計上、減価償却費27,707千円、棚卸資産の減少1,652千円、支出の主な内訳は、売上債権の増加1,667千円、仕入債務の減少1,178千円、法人税等の支払32,957千円等であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動で使用した資金は、6,866千円（前年同四半期は24,661千円の支出）となりました。支出の主な内訳は、ソフトウェアの開発による無形固定資産の取得による支出6,456千円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動で獲得した資金は、2,225千円（前年同四半期は1,543千円の支出）となりました。収入の内訳は、ストックオプションの行使による収入2,225千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月14日に公表いたしました2023年12月期の通期業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	595,928	609,018
受取手形及び売掛金	109,888	111,556
仕掛品	4,584	2,931
その他	31,390	37,290
貸倒引当金	△1	△199
流動資産合計	741,791	760,598
固定資産		
有形固定資産	25,415	23,914
無形固定資産		
ソフトウェア	82,103	60,136
ソフトウェア仮勘定	3,980	8,529
その他	350	-
無形固定資産合計	86,433	68,666
投資その他の資産	87,850	79,249
固定資産合計	199,699	171,830
資産合計	941,490	932,429
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,210	33,951
未払法人税等	37,372	15,896
その他	57,386	40,181
流動負債合計	127,969	90,029
固定負債		
資産除去債務	23,975	24,009
固定負債合計	23,975	24,009
負債合計	151,944	114,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	314,937	316,110
資本剰余金	244,937	246,110
利益剰余金	229,670	256,169
株主資本合計	789,546	818,389
純資産合計	789,546	818,389
負債純資産合計	941,490	932,429

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
売上高	540,727	543,381
売上原価	256,648	279,018
売上総利益	284,079	264,362
販売費及び一般管理費	204,163	224,739
営業利益	79,915	39,623
営業外収益		
為替差益	255	-
その他	67	36
営業外収益合計	322	36
営業外費用		
支払利息	20	-
株式交付費	210	126
営業外費用合計	230	126
経常利益	80,008	39,533
特別損失		
固定資産除却損	-	350
特別損失合計	-	350
税引前四半期純利益	80,008	39,183
法人税、住民税及び事業税	25,228	12,137
法人税等調整額	△236	546
法人税等合計	24,991	12,684
四半期純利益	55,016	26,498

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年1月1日 至2022年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年1月1日 至2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	80,008	39,183
減価償却費	27,603	27,707
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	198
受取利息	△25	△26
支払利息	20	—
為替差損益 (△は益)	△255	—
株式交付費	—	126
売上債権の増減額 (△は増加)	21,802	△1,667
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△782	1,652
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,495	△1,178
固定資産除却損	—	350
その他	13,864	△15,659
小計	128,711	50,685
利息の受取額	2	2
利息の支払額	△20	—
法人税等の支払額	△11,646	△32,957
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,045	17,731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,233	△409
無形固定資産の取得による支出	△23,428	△6,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,661	△6,866
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△6,688	—
ストックオプションの行使による収入	5,145	2,225
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,543	2,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	255	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	91,096	13,089
現金及び現金同等物の期首残高	434,731	595,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	525,828	609,018

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期累計期間において、新株予約権の行使による新株発行を行い、資本金が1,172千円、資本準備金が1,172千円増加しました。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が316,110千円、資本準備金が246,110千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社はbetrend事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

	betrend事業
サービス別	
CRMサービス	435,850
カスタマイズサービス	91,558
その他サービス	13,318
顧客との契約から生じる収益	540,727
その他の収益	—
外部顧客への売上高	540,727

当第2四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	betrend事業
サービス別	
CRMサービス	469,925
カスタマイズサービス	68,308
その他サービス	5,147
顧客との契約から生じる収益	543,381
その他の収益	—
外部顧客への売上高	543,381

(注) 第1四半期会計期間より、従来「その他サービス」に含めておりましたコールセンターサービス売上は、サービス区分の見直しを行ったため、「CRMサービス」に区分して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期累計期間について注記の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期累計期間において、組替え前に比べ「CRMサービス」が4,861千円増加、「カスタマイズサービス」が204千円増加、「その他サービス」が5,065千円減少しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。